

日本共産党平塚市議会議員団  
電話0463-23-1111 (内線2375)  
平塚市浅間町9-1 平塚市議会控室

No.1322 2015年 8月30日

日本共産党平塚市議会議員団  
団長 高山和義  
電話・FAX 31-4638  
k.takayama@mb.scn-net.ne.jp  
松本敏子  
電話・FAX 59-4607  
mail@matsumoto-toshiko.jp  
渡辺敏光  
電話・FAX 31-6431  
w-toshi@agate.plala.or.jp

無料法律相談  
今回は9月17(木)  
午後4時～6時(要予約)

## 平塚市議会9月定例会

8月26日～9月18日

日本共産党平塚市議会議員団の総括質問

○渡辺 敏光(25分) ○松本 敏子(14分)

### 9月定例会日程

8月26日(水)	本会議初日
9月4日(金)	本会議・総括質問 * 請願締切り
" 7日(月)	本会議・総括質問
" 8日(火)	本会議・総括質問
" 9日(水)	本会議・総括質問
" 11日(金)	総務経済、都市建設常任委員会
" 14日(月)	教育民生、環境厚生常任委員会
" 18日(金)	本会議(最終日)



### 9月議会は決算議会

毎年9月議会は議題として、「決算の認定」が求められます。

2014年度平塚市一般会計・特別会計決算、病院事業決算について審査されます。

平塚市議会では、9月議会終了後に決算特別委員会が開催されます。  
毎年この「議員団ニュース」で、平塚市の主な決算状況についてお知らせしていきます。今年も重要と思われる資料を載せていきます。

### <2014年度決算状況(普通会計)>

歳入総額 861億9332万7千円(前年比23億2749万7千円増)  
歳出総額 818億3987万8千円(前年比19億3840万6千円増)

### 歳入・歳出・実質収支・その他 (単位:千円)

	2012年	2013年	2014年
歳入総額	87,956,207	83,865,830	86,193,327
歳出総額	84,177,634	79,901,472	81,839,878
差引額	3,778,573	3,964,358	4,353,449
翌年度繰越	138,269	258,708	660,363
実質収支	3,640,304	3,705,650	3,693,086
単年度収支	692,373	65,346	△12,564
積立金	448,803	602,418	501,771
繰上償還金	0	0	0
積立金取崩額	0	0	1,300,000
実質単年度収支	1,141,176	667,764	△810,793

### 2014年度 歳出予算執行状況(単位:千円・%)

	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
議会費	627,074	597,079	0	29,994	95.2
総務費	13,025,472	11,728,348	793,504	503,620	90
民生費	36,153,831	33,949,023	343,877	1,860,929	93.9
衛生費	6,934,298	6,572,138	6,686	355,473	94.8
労働費	238,110	235,079	0	3,030	98.7
農・水費	945,715	720,439	49,012	176,262	76.2
商工費	2,212,115	2,010,072	177,230	24,812	90.9
土木費	10,609,875	9,678,073	295,334	636,467	91.2
消防費	2,933,174	2,874,205	18,780	40,188	98
教育費	7,418,209	7,125,681	58,400	234,128	96.1
公債費	5,108,046	5,105,186	0	2,859	99.9
諸支出金	1,304,000	1,304,000	0	0	100
予備費	(予算額)	(充用額)	(予算現額)	(不用額)	
	217,482	56,452	161,030	161,030	
災害復旧費	201,389	44,890	156,499		22.3

<人件費>

	決算額	構成比	経常経費充当一般財源	経常収支比率
2010年	15,314,752	20	14,079,196	29.2
2011年	14,776,583	19.8	13,728,782	28.7
2012年	14,890,233	17.7	13,873,873	28.9
2013年	14,296,192	17.9	13,246,760	27.4
2014年	14,817,000	18.1	13,995,964	28.5

<扶助費>

	決算額	構成比	経常経費充当一般財源	経常収支比率
2010年	18,781,764	24.6	5,900,280	12.2
2011年	19,849,057	26.6	6,273,164	13.1
2012年	20,685,750	23.8	5,906,269	12.3
2013年	20,157,038	25.2	6,390,595	13.3
2014年	21,325,577	26.1	6,522,851	13.4

<公債費>

	決算額	構成比	経常経費充当一般財源	経常収支比率
2010年	5,195,383	6.8	5,060,080	10.5
2011年	4,965,728	6.6	4,837,543	10.1
2012年	4,898,352	5.8	4,759,239	9.9
2013年	5,003,384	6.3	4,876,028	10.1
2014年	5,064,334	6.2	4,941,900	10.2

(表面からの続き)  
財政構造の弾力性等をみます。

<経常収支比率>  
財政の弾力性を示す指標です。比率が高いと経常余剰財源が少ないといわれています。義務的経費は「人件費」「扶助費」「公債費」です。その他では「物件費」「維持補修費」「補助費等」「繰出金」が経常収支比率の対象になります。

年度	経常収支比率
2010年度	92.3
2011年度	92.4
2012年度	92
2013年度	91.4
2014年度	93.6

## 町場の建設職人の組合と平塚市が、災害時の応急復旧等の協定を締結

町場の工務店や建設関係業者、職人の組合の湘央建設組合(向 外二組合長)、と神奈川土建一般労働組合平塚支部(小川 弘明委員長)は、平塚市と「災害時における応急復旧等の協力に関する協定書を8月21日に締結をしました。

この協定は、「平塚市内に発生し、又は発生するおそれがある地震、風水害、その他の災害時等において災害の拡大防止、応急復旧活動の協力するということです。

### 第1条(協力の要請)

甲(\*平塚市)は、平塚市内に災害が発生し、又は発生する恐れがあり、乙(\*組合)の協力を必要とするときは、乙に対し、次の各号に掲げる事項を明

らかにした応援要請書をもって要請するものとする。ただし、緊急を要するときは、電話又はその他の方法をもって要請し、事後、要請書を提出するものとする。

- (1) 災害の発生場所又は発生するおそれがある場所
- (2) 災害の状況等及び要請内容
- (3) 指示事項及びその他必要な事項

—災害時だけでなく、日頃から訓練等に協力も—

それまでの様々な災害協定と違うのは、災害時等の協力だけではなく、協定書第2条で組合は「地元自治会等からの要請による地域の防災訓練への組合員の参加、機材等の貸出し及び指導に努めるものとする」。

第3条では「前条による甲の(\*平塚市)要請及び地元自治会等からの要請を受けたときは、特に業務上の支障その他やむを得ない事由のない限り、他の業務に優先して要請に応じ協力する」としています。

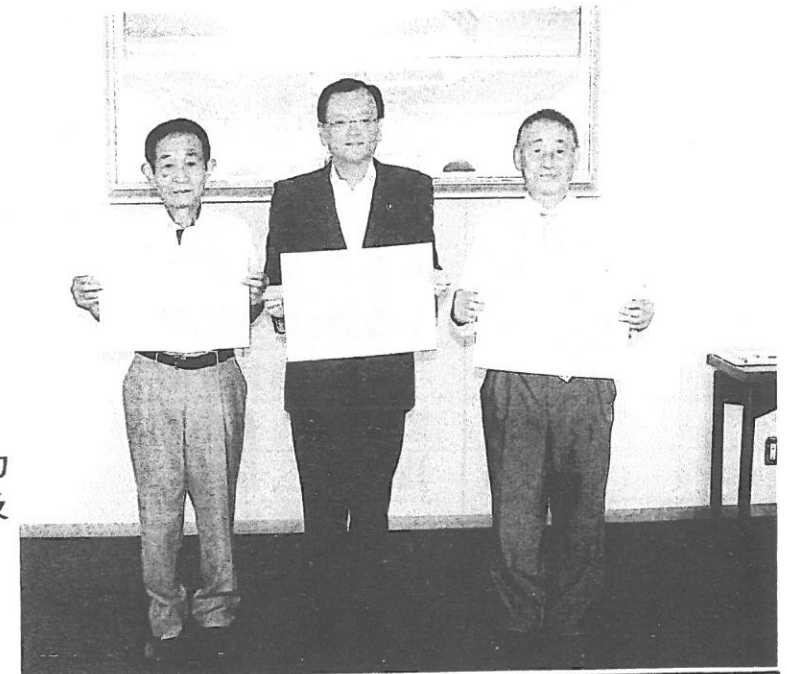
毎年各自治会で、防災訓練が実施されていますが、機材の取り扱いは、なれている人がいないと難しいものです。地域に今回災害協定を結んだ組合員がいるならば、訓練もより充実するし、地域の中での交流も広がり、もし災害が発生した時に、その繋がりや地域の中で、大きな力を発揮することになるのではないのでしょうか。

担当課は、今回の協定の、災害時の協力と日常の訓練等の協力という両面の内容をもつものは、全国でも初めてではと、その意義を強調しています。

(文責・W.)

### <協定の項目>

- 第1条 協力の要請
- 第2条 要請に対する協力
- 第3条 協力の状況報告及び協議
- 第4条 協力の結果報告
- 第5条 費用の負担
- 第6条 災害補償
- 第7条 連絡窓口
- 第8条 協議
- 第9条 協定の期間



写真・左から神奈川土建一般労働組合平塚支部小川弘明委員長、落合克宏平塚市長、湘央建設組合向 外二組合長